

新ケミカル商事は樹脂販売・リサイクル事業会社（TTC化学株式会社 本社:東京 資本金8百万円）をNCT化学株式会社として平成30年（2018年）5月1日付で社名変更・グループ化

1. 主旨

新ケミカル商事は、日本、アジア圏で樹脂原料販売および樹脂リサイクル事業を推進する TTC 化学株式会社の全株を買い取り、5/1付で「NCT化学株式会社」と社名変更し正式にグループ化する。

2. 経営戦略的な意義

新日鉄住金化学株式会社の商事子会社としてスタートした当社は、平成26年（2014年）を起点とする中期計画 NCT-26 を強力に推進中。「社会に認知される会社」を目指し、「特色あるビジネス」、「特色ある会社運営」を構築し事業規模1000億円を目指している。

今回の NCT 化学のパートナー化（当社ではグループ会社を「パートナー会社」と呼称）により、現在、樹脂材料およびリサイクル樹脂の事業規模 約 90 億円が、160 億円規模となり樹脂原料品種の広がりとしリサイクル樹脂の取扱い、特にアジア圏におけるリサイクル樹脂事業は飛躍的にその規模を拡大することになる。これにより、お取引先各位へのより広範囲なソリューションを提供できる体制を構築し、早期に樹脂事業規模200億円を目指していく。

さらに、このパートナー化は中期計画 NCT-26 で標ぼうする「特色あるビジネス」を構築する上で大きな戦略的な行動としても位置付けられる。アジア圏における事業成長を企図し、当社は本年4月より本社を北九州市に設置し、北九州本社、東京本社の2本社体制となった。北九州市とはアジア低炭素化センターと環境関連プロジェクト推進に関する連携協定を本年1月11日付で締結しており、NCT化学は、北九州市との連携によるアジア圏における環境ビジネスを強力に推進する一つの大きな事業上の経営リソースとして位置付けられる。今後、シナジー効果を早期に実現すべく新たな経営執行体制を構築していく。

3. 参考情報

NCT化学株式会社 本社所在地：東京 資本金：8百万円 売上高：68億円（2017年）従業員：19名
事務所：東京、シンガポール、上海

以上